

製品安全データシート

Calvazole Violet 1101(R) PressCake

作成 : 2018/11/7

改訂 : 2020/4/3

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称
会社名

Pigment Violet -23 (50%水溶液)
WESTERN CHEMICAL INDUSTRIES (P) LIMITED
2, Cozy Building, Ground Floor, 72-B, August Kranti Marg,
Mumbai - 400 036, India

住所
担当部署
担当者(作成者)
電話番号
FAX番号
メールアドレス
緊急連絡先番号

+ (91-22) -2387-4646
+ (91-22) -2387-4647
info@westernchemical-in.com

販売代理店
住所:
電話番号
FAX
メールアドレス
HP

サンケミカル株式会社
東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
03-3661-6681
03-3661-7055
yano@sun-chemical.co.jp
<http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
有機顔料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類

物理化学的危険性: 分類できない

健康に対する有害性: 分類できない

環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分外	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル 無し

● 注意喚起語 無し

● 危険有害性情報 無し

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

【応急措置】

吸引した場合	換気をよくし、気分の優れない場合は、新鮮な空気の場所に移動すること。医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	十分な水と石けんで洗い流すこと。
眼に入った場合	直ぐに10分間眼を洗うこと。
飲み込んだ場合	直ぐに医師の診断を受けること。
【保管】	換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

地方自治体の管理方法に従い、産業廃棄場か、適切な焼却炉にて処理すること。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

ピグメントバイオレット-23

別名

8,18-dichloro-5,15-diethyl-5,15-dihydrodiindolo
[3,2-b:3',2'-m] triphenodioxazine

化学特性

CAS番号

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

化学名	CAS No.	含有%	化審法番号
ピグメントバイオレット-23	6358-30-1	50	5-3292
水	7732-18-5	50	無し

注意:

本商品は、副生物として、微量のポリ塩化ビフェニルを含有しております。
化審法の規定に基づき、輸入者は経済産業省への定期報告を行っております。

▲ 項目4 応急処置

吸引した場合 換気をよくし、気分の優れない場合は、新鮮な空気の場所に移動すること。医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 十分な水と石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合 直ぐに10分間眼を洗うこと。

飲み込んだ場合 直ぐに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤

項目5 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、
使ってはならない消火剤	棒状放水、炭酸ガス、粉末
火災時の措置に関する特有の危険有害性	煙を吸い込まないこと。 二酸化炭素、一酸化炭素、酸化窒素、塩化水素の発生のおそれ
特有の消火方法	データ無し
消火を行う者の保護	呼吸器の保護具を着用して消火を行うこと。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	ダストの発生を抑えること。
環境に対する注意事項	環境への放出を行わないこと。 もし放出した場合、権威ある組織に報告をおこなうこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	適正な容器の中に封じ込み、処理すること。 封じ込みの際にダストが発生しないようにすること。
二次災害の防止策	

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
技術的対策 (局所排気、全体換気)		「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全取扱注意事項		蒸気に触れない、吸引しないようにすること。 取扱場所では飲食をしないこと。 飲食前は手を洗うこと。 作業着が汚れた場合、再着用前によく洗うこと。
接触回避		「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管		
安全な保管条件		換気の良い場所で保管すること。
安全な保管保管包装材料	元の容器	

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱場所、保管場所では換気状況をよくしておくこと。
許容濃度	
日本産業衛生学会(2005年版)	データ無し
ACGIH(2005年)	データ無し
保護具	
呼吸用保護具	通常の使用では不要。

手の保護具 手の保護具を使用すること。
ニトリルラバー手袋。
破過時間:データ無し
最小厚さ:データ無し
メーカーの定める耐久時間を遵守すること。

目の保護具 安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具 通常の保護具を着用すること。

特別な注意事項 化学品の取扱時の産業衛生を遵守すること。

項目9 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色)	粉状 紫色
臭い	無し
臭いのしきい値	データ無し
pH	6.0~8
融点・凝固点	データ無し 分解温度は 320℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	データ無し
引火点	データ無し
蒸発速度	データ無し
燃焼性(固体、気体)	データ無し
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重(相対密度)	1.5g/cm ³ (20℃)
溶解度	不溶 (25℃の水)
n-オクタノール/水分配係数	データ無し
自然発火温度	250℃
粘度(粘性率)	
その他データ	データ無し
最終着火エネルギー	30~100Mj 方法:Mike 3 inductive electrical resistance
バルク密度	約280kg/m ³ (20℃)

● 項目10 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性	通常の使用方法では安定。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	データ無し
混触危険物質 危険有害な分解生成物 その他	熱

★ 項目11 有害情報

急性毒性
ラット/経口/ LD50 ≥ 2000 mg/kg /OECD401

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 皮膚刺激無し 4時間/ラビット /OECD404

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 眼刺激無し ラビット /OECD405

呼吸器感作性又は皮膚感作性	感作性無し マウス/OECF429
生殖細胞変異性	陰性 Invitro Ames Test サルモネラ菌 代謝活性化 有り、無し / OECD471
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性、単回曝露	データ無し
特定標的臓器毒性、反復曝露	データ無し
吸引性呼吸器有害性	データ無し
その他	データ無し

項目12 環境毒性情報

生態毒性

ゼブラフィッシュ(ダニオ) / LC50 >100mg/L /96時間 / OECD203

大ミジンコ/48h 毒性は観察できなかった。

藻 / EC50 >100mg/L /72時間 / OECD201

バクテリア データ無し

残留性・分解性

顔料は非常に安定度が高く、ほとんど環境(下水や処理施設や地表水)で分解されない。

生体蓄積性

データ無し

土壤中の移動性

データ無し

オゾン層への有害性

データ無し

他の有害影響

職場で産業衛生を遵守し、廃棄物は環境に放出しないこと。

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物 地方自治体の管理方法に従い、産業廃棄場か、適切な焼却炉にて処理すること。
汚染容器及び包装

項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

非該当

品名(国連輸送名)

非該当

国連分類

非該当

(輸送における危険有害性クラス)

容器等級

非該当

海洋汚染物質
(該当・非該当)

非該当

MARPOLによるばら積み輸送される液体物質
(該当・非該当)

非該当

国内規制

非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

応急措置指針番号

非該当

その他

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報

化管法 非該当

化審法 副生PCB(ポリ塩化ビフェニル)を含有しております。
第一種特定化学物質として経済産業省への届出をしております。
2019年歴込基準値以下の数値で法令上輸入は問題有りません。

安衛法 通知表示物質 非該当

毒劇法 非該当

火薬類取締法 非該当

高圧ガス保安法 非該当

消防法 非該当

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS(2009年11月21日)
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色付けはGHS対応ガイドライン準拠			(但し、ラベルに全て載せる必要はない)